



道東エリア
浜中町

新しい名物商品を開発して食卓に届けたい

若い漁師たちを引っ張り沖に出るだけでなく、女性部や地域、近隣の漁業協同組合とも交流しながら漁業の可能性を切り開く、漁協青年部のリーダー。新しい漁師像に挑戦する彼のやりがいとは？

プロフィール

名前 阿部 雄大 年齢 32

前職 高校新卒から就業

以前の居住地 浜中町



新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

漁師の父を幼い頃から手伝いながら海で遊んで育つ
▶物心ついたときから親の跡を継ぐのが当然のこと
とされていた▶高校を卒業し乗組員に

現在の仕事内容

養殖ウニとコンブ漁業を中心に、カキ、ツブ、タラなど幅広く操業しています。漁師もただ沖に出るだけでなく、女性部と一緒に加工品の下処理や干物の製造、パッケージングなどの



の作業も分担しています。また散布（ちりっぷ）漁協青年部の部長としてオリジナル商品の開発、札幌などでの販促活動、Instagramでの広報活動なども行っています。

仕事のやりがいや魅力

季節ごとにさまざまな漁業があり、その方法を一つひとつ覚えていくのは大変ですが楽しいです。実際に漁師になってみて、改めて父や先輩漁師たちの偉大さを感じました。自然が相手なので上手くいかず落ち込むこともあれば、沖に出て大漁で帰ってきたときは単純に嬉しいですし、何が起こるかわからないところも漁師の楽しさかもしれません。



ウニの養殖では、手間ひまかけて育てたウニを市場に出して、高値が付くなど評価されたときは、やってきたことが報われたように感じます。一人でやっているわけではなく、一緒に喜べる仲間がいることも、この仕事の大きな魅力だと思います。

現在の暮らしや地域との交流

砂浜や地域の清掃活動、地元の小中学校と連携したアサリ掘り学習などを行っています。浜中町には2つの漁協があり、お互いに意見交換が盛んで漁業の仕方なども違いがあって面白いです。

今後の目標

とにかく現在は一人前に仕事ができるように、親や先輩からたくさんの事を学び吸収していきたいです。

地元の美味しい海産物を、最高の状態で食べて欲しいので、新しい名物商品などどうやって食卓に届けるかということももっと考えていききたいです。



これから新規就業を目指す方へ

漁師は自分の頑張りがそのまま結果として出るやりがいのある仕事です。「ルパン三世」の原作者モンキー・パンチの故郷・浜中町で、漁業に関わる仕事に挑戦してみたいと思っていただけたら嬉しいです。